

備前市事務事業評価表

事業の概要		コード	04-01-02-04
事務事業名	造林事業		
	昭和46年度以前	根拠法令・要綱等	
事業開始年度	昭和46年度以前		
大項目	もてなしの心とたくましさのあるまちづくり	問合せ先	農林水産課
中項目	豊かな食を支えるまちづくり	職・氏名	管理係長・大道健一
小項目	施策 林業	電話	64-1831

事業の実施	
対象 (誰・何に対して)	森林所有者、森林利用者
目的 (何のために)	森林環境の保全に資するために、森林整備の推進を図る。
行政活動 (どのような方法で)	植栽等を行った者に対し、援助を行う。
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	緑化事業により地域の環境保全を行う。

事業の実績				
実施項目	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
苗木の支給団体		2件	3件	6件
記念造林保育事業			1件	
造林事業補助金交付者				
活動実績				
事業費				
直接事業費	千円	616	535	259
人件費		646	348	93
事業費計		1,262	883	352
財源				
国県支出金		221	210	259
受益者負担				
市一般財源	千円	1,041	673	93
必要人員	人	0.15	0.04	0.01
結果指標名	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
苗木の支給団体	説明	緑化樹植樹団体		
結果指標量	件	2	3	6
対前年比	%	-	150.0%	200.0%
活動コスト	円		677,000	259,000
単位当たりコスト	円		225,666	43,166
結果指標				
記念造林保育事業	説明			
結果指標量	件		1	0
対前年比	%		-	0.0%
活動コスト	円		206,000	0
単位当たりコスト	円		206,000	0

事業の成果			
成果指標名	造林面積	式又は説明	造林面積 / 造林希望面積
成果指標量	17年度	18年度	19年度
	0.00	0.00	0
対前年比			
到達目標値	100	到達目標年度	毎年度

事業の目的、対象、内容を考えてながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

(平成19年度事業)

事務事業の評価		妥当性評価<A~E>	D
目的	<input checked="" type="checkbox"/> 開法令等で目的が定められており妥当である(法律・政省令) <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化している	課題認識	
対象	<input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある	過去に植林した山林がそのままのため、整備していく必要がある。	
行政活動	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的を達成するためには、現在の行政活動以外に方法はない		
事業の意図する成果	<input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも事業の意図する成果を見直す必要はない		
市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請の強い事業である		
市の関与	<input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与しなければならない事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は大きい <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は克服できる範囲内である		
コスト	<input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしており、低減余地は大きい <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、低減余地は小さい <input type="checkbox"/> サービスを低下させずにコストを低減することは困難 <input type="checkbox"/> 受益者負担額を見直す余地がある	効率性評価<A~E>	D
手	<input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善している <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	課題認識	
職	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input type="checkbox"/> 事業実施について、職員の意見・要望が反映されやすい	県が補助する造林事業に対し、補助金を交付しているが、造林事業者が実施しやすいように見直ししていく必要がある。	
目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している		
有効性の評価	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	有効性評価<A~E>	D
市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	課題認識	
		市民及び森林組合を指導し森林所有者に事業の内容を情報提供し、周知する必要がある。	

平成20年度の状況		説明	引き続き、森林組合と協力して事業を推進していく。
<input type="checkbox"/> 重点化している <input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input type="checkbox"/> 見直し継続している <input type="checkbox"/> 事業を縮小している	<input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input checked="" type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了		
目標値	結果指標量 6	結果指標量	0
成果指標量	100.00		

総合評価		評価区分 <A~E>	D
今年度も補助対象者がいなかったが、今後とも森林組合等と連携し、事業を増やす必要がある。			

平成21年度以降の方向性		説明	平成20年度で廃止・完了
<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する		

平成21年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果